

女子プロ野球選手誕生！ 女子球児に夢を与えたい 硬式野球選手

おくむら 奈未 さん
(埼玉栄高校3年、佐原1)



▲市長と談笑する奥村さん(1月28日)



▲新たなフィールドでの活躍を両親に誓う



県内初の女子プロ野球選手となる奥村さんが、1月28日に宇井市長を表敬訪問し、力強く抱負を語りました。制服で談笑する姿は普通のかわいらしい女子高生父の影響で野球に心を奪われた「野球ぞっこん女子」の奥村さんを紹介しましょう。
小学2年から野球を
元高校球児で、地元草

野球チームでプレーしている父の背中を見て育った小学2年の野球観戦中のある日、「スタンドでの応援よりグラウンドの方がいい」と思い、軟式少年野球チーム「佐原ウィナーズ」に入団しました。同学年で女子は2人だけ。4年から投手として男子を打ち取りたい一心で投げ、6年で待望の

からトップチームで活躍。けがをしたり落ち込んだりした時、父や弟が寮まで来てくれて、キャッチボールやフォームのチェックなどをしてくれました。キャッチボールをしていると自然と気分が晴れ、また、頑張ることができました。
トライアウトに挑戦
3年の夏、チームは全国制覇するも、けがなどで出場機会が減り不完全燃焼となっていました。「支えてくれた家族や周りの人たちのためにもこのままでは終われない。トップを目指す。」と昨春秋に行われたトライアウトに挑戦しました。

プロ野球選手として
京都を中心に試合を行う「サウスディオネ」と契約を結び、既に練習やキャンプなどに参加しています。夢だったプロ野球選手になることができ、両親や周りの方々に感謝しています。4月からシーズンが始まるので、早くレギュラーを取れるよう頑張ります。そして、女子球児に夢を与えられるような選手になりたいです。

プロフィール

軟式少年野球、シニアを経て、埼玉栄高校に進学。3年の夏(2013年)全国制覇。同年9月、日本女子プロ野球リーグ合同トライアウトに挑戦。サウスディオネとプロ選手契約。内野手、身長163cm、右投げ右打ち。



野球チームでプレーしている父の背中を見て育った小学2年の野球観戦中のある日、「スタンドでの応援よりグラウンドの方がいい」と思い、軟式少年野球チーム「佐原ウィナーズ」に入団しました。同学年で女子は2人だけ。4年から投手として男子を打ち取りたい一心で投げ、6年で待望の

からトップチームで活躍。けがをしたり落ち込んだりした時、父や弟が寮まで来てくれて、キャッチボールやフォームのチェックなどをしてくれました。キャッチボールをしていると自然と気分が晴れ、また、頑張ることができました。
トライアウトに挑戦
3年の夏、チームは全国制覇するも、けがなどで出場機会が減り不完全燃焼となっていました。「支えてくれた家族や周りの人たちのためにもこのままでは終われない。トップを目指す。」と昨春秋に行われたトライアウトに挑戦しました。

プロ野球選手として
京都を中心に試合を行う「サウスディオネ」と契約を結び、既に練習やキャンプなどに参加しています。夢だったプロ野球選手になることができ、両親や周りの方々に感謝しています。4月からシーズンが始まるので、早くレギュラーを取れるよう頑張ります。そして、女子球児に夢を与えられるような選手になりたいです。

ブカツー信

II
vol.2
中学校部活紹介

香取中学校 剣道部



県大会入賞を目指して!!

香取中剣道部は、県大会上位入賞を目標に、日頃から稽古に励んでいます。冬場は下校時間が早く、練習時間が確保できませんが、限られた時間の中で効果的に行えるよう工夫しながら、集中して取り組んでいます。目標を達成できるよう、今後も頑張りたいと思います。



▲気合の入った練習



克己(己に打ち克つ)!!

私たちは、2年生6人、1年生6人の計12人で活動しています。みんなで声を出し合い、克己心を忘れずに日々の練習を頑張っています。チームワークをもっと高めていくことが課題なので、克服していきたいです。どの大会でも優勝目指して頑張ります!



▲果敢にゴールを狙う!

山田中学校 バスケットボール部(女子)

広報 **かとり** Katori
香取市
平成26年(2014)3月1日号 No.191
編集 香取市役所総務部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp

人口と世帯

2月1日現在 (前月比)

計	81,983人 (-137)
男	40,488人 (-73)
女	41,495人 (-64)
世帯数	30,214世帯 (-37)

編集後記
この3月いっぱいでは小見川北小学校利北分校は閉校します。私は本校出身で、小学生のころ、分校の児童は新田から自転車、渡船を使って通学していました。当時、同級生の家に自転車で遊びに行っていたことがありました。渡船を使わず小見川大橋を渡って行ったため、あまりに遠く、もう自転車では行かないと心に誓ったこともあり出で。今となってはいい思い出です。分校の児童も本校の児童も友達をたくさんつくり、豊かな学校生活を送ってほしいと思います。
3月23日に執り行われる閉校式典・記念事業にも取材に行きたいと思っております。自転車ではなく自動車です。(E)